

津福サロンに水道施設を設置しよう お願い

SNK の交流の場として、また各種イベントの拠点としての「津福サロン」は 8 月末まで隣家の一人暮らしの「青木のおばあちゃん」のご厚意で水道水を分けて貰っていましたが、昨年末お亡くなりになり、ご遺族がこのたび第三者に売却されました。水道の使用不可で秋恒例の芋煮会も中止せざるを得ませんでした。

そこで、今後とも津福サロンを活動の拠点とする為には、水道は不可欠の設備です。水道の本管は隣家までしか来ていない為、これを延長し敷地内へ引き込むためには、概算で 27 万円程度の資金が必要となります。SNK 理事会の承認を得て「津福サロン水道設置委員会」を立ち上げ、皆様に下記のとおり寄付金をお願いする運びとなりました。（水道設置委員会代表 小島紀夫）

記

- 1、お願い金額 1 口 1,000 円 何口でも歓迎です
 - 2、期間 2013 年 12 月末日まで
- * 寄付金の集金につきましては水道設置委員会より右の通り、ご案内致します。

水道設置委員会

募金委員長 丸山クルミ

津福サロンは、SNK 設立当初より交流の活動基地として、又そうめん流し、灯籠流し、芋煮会、農園収穫祭、等の各イベントの資材の保管、準備場所、そして年末恒例の餅つき交流会の開催場所でもあります。SNK のバックヤードとして、長きに渡って活躍してくれた場所、それがこの津福サロンなのです。

昨年の炊事場改造工事、物置小屋設置等で津福サロンの手持ち資金も底をついている状態です。そこでこの水道設置委員会を立ち上げ、広く皆さまに寄付のお願いをする運びとなりました。何卒ご理解の上ご協力のご寄付をどうぞよろしくお願い致します。

◆ 寄付金受取り方法

- 1、SNK 事務局まで持参して頂く
- 2、これからの各イベントでお会いした折頂く
- 3、直接委員会がご自宅までお預かりに伺う 以上

秋色に染まる北野路を歩きました 久留米ん町探検隊



2013 年 10 月 5 日 ↑ 赤司八幡宮境内で記念写真、中央黄色ジャンパーが高木隊長 ↓ コスモス街道とガイド地図

・参加人数：30 名 ・会費：1000 円
 ・出発：9：30～13：00 所要時間：約 3 時間 7 km
 初秋の筑後路をさるく第 10 回久留米ん町探検も 台風襲来の影響も少なく、途中から雨になりましたが、涼しく感じながら無事終わる事が出来ました。何処を回っても深い歴史に彩られている事を改めて感じました。高木隊長始め 尽力をされた方々に感謝いたします。参加して下さいました沢山の皆さんお疲れ様でした。（HP 久留米ん町探検隊、報告より）



（あとがき）確実に季節は秋となり稲田は黄色く輝く。九州は豪華七ツ星列車が走り快適旅行も準備された。天気はよし。（式）

SNK

SENIOR NET KURUME

編集・発行
 NPO シニアネット久留米
 理事長 小島紀夫
 久留米市荘島町 13-1
 TEL 0942-46-2277

この指とまれ、元気もん

「人は二人が寄りあって立っているから人なのだ」とは漢字理解のための注釈である。そこに居るのが茶呑み友だちであれば、共通の話題を探せばお茶を介して話が出る。話を通じて人と人のコミュニケーションが成立すれば、2 人より 3 人、5 人、10 人と大きな輪が出る。それは付き合いの始まりである。だが、関係は人間関係へと広がり、親しさも込めてお互いの間には複雑さも煩雑さも生まれ、とても難しいことに気付く。お互いのその親しさを示す時、どうしても関係は密であると言い、一心同体のイメージが付きまとう。根本に働いているのは切れない友情みたいなもの、引きあう力である。

人間は友情や仲間との関係を表現するとき、喜怒哀楽を共にしていることを「形」で表す。お祝いや哀しみの時にそれ相応のものを贈るのがその形であり、お付き合いとして決して忘れてはならない習わしとされている。当然「お返し」もそれにふさわしい「形」をもって行われる。お付き合いは義務感が伴うものであり、義理を欠いてはならないものだ。というわけで、これにいろいろ心を配ることとなる。

お付き合いは大変だ、ということもあり最少の義理を果たすものの、そのうち「付き合いは鬱陶しい」ことにも気付く。自分の自由意思がからめとられていくからだ。社会は人と人の関係で成り立っているから、お付き合いを軽視する風潮も時代や社会によって生じてくる。だが、地域やグループで一体感を伴うことであれば「お付き合い」はきわめて重要なこととなる。

自由を尊重する社会、そして価値観も変えていく自由な社会だから、生活に占めるお付き合いは人によって大きく違う。だが地域との交流を基にしていればお付き合い社会を楽しんだ方がよい。他者との隔てない交流は、付き合い上手という名の社交家にとって楽しい時間である。そこに若者が新しい価値観をもって参加すれば、それは現代の新しい社交術とでも呼べる形となるのかもしれない。

豊かなシニア世代を過ごすためには、楽しみとして遊びごと、趣味などが必要だ。趣味や遊びを介して仲間が増える。遊びでつくる仲間の面白いところは「気心が知れる」ことである。単に勝負を争ったり楽しんだりしているだけではなく「人間の味」が出て来るし友情が生まれて来る。それを自然に無理なく出来る人がいる。朋友と書いてポンユウと中国語で読む、語源である。

行動力豊かなシニア廣津芳信さんの方法は参考となる。彼の生家に近く地域の偉人、かつてポテト王としてアメリカで成功した実業家がいた。廣津さんは郷土の偉人の足跡を調べ、『ポテト王（牛島謹爾）を語る会』を結成した。現地アメリカを訪ねビデオを作り広く世に紹介した。毎年、地域公民館にて「牛島謹爾遺品展」を行い、今日まで続いている。仲間は、“この指とまれ“式で募る。人は絶大な信頼を置いて”元気もん廣津さん“の指にとまる。

平和な時代に暮らしているが、現代は高齢者にとって暮らし易いとはいえない。子ども世代は自身の生活で手いっぱい状態にあり、高齢者である私たちは自立して生きることが問われている。ホントの大人はいつも初々しい少年の心をなくさないものだ。彼に進呈できる言葉は「未だ足りぬ、踊り踊りてあの世まで：6 代目尾上菊五郎」が相応しいかもしれない。

（編集長 一ノ瀬尚文）

シリーズ 元気もん

廣津芳信という人

経歴紹介

SNK: 1998年会設立時入会
理事長歴: 2007～08 年
うまかもんリーダー
特技: 1・ポテト王を語る会会長
2・ツーリング他なんでもやる

ポテト王関係

私の住んでいる家の近くに、牛嶋謹爾の生家があった。小学生のころ読んだ偉人伝で、彼のことを知って以来、心の片隅にいつも残っていたのが、地元公民館の文化祭での遺品展示をきっかけに「ポテト王を語る会」を結成、記念碑設立やビデオの作成、足跡をたどる訪米、毎年の講演会開催などの事業を17年間続けてきたが、全てを取り仕切っていた相棒が病気で動けなくなったので、困っている。

通路

70 歳を過ぎた頃から何とはなしに四国八十八か所の巡礼をしようと思うようになり、仲間とバイクで回り始めた。それが、段々とエスカレートし、西国三十三観音霊場、百観音霊場と回り終えて、身も心も清浄無垢、悟りが開けて仏様と見間違えるほどの人格者になったと思いきや、何の変化も現れず、事故もなく帰ってきたのが神仏のご加護で、ご利益だったのだな・・・とやっと気が付いた次第。全部の寺院で般若心経を唱え、納経帳にご朱印を頂いてきたのだけれど、人からは、単なるスタンプラリーじゃないかといわれ、そういえばそうかもなーと納得している。

クッキング

月1回、えーるピアでのクッキング教室に通う。仲間のベテラン主婦が、レシピを見ながら手際よく調理をしている横で、ただ包丁を持ってウロウロしているだけだが楽しい、ホントです。



ハングル教室

シニアカレッジの選択科目で、韓国関係の講座を選んだ仲間が集まって作った教室だが、当初のメンバーは私と藤島さんの2人だけになった。ただ、あとから参加したメンバーで目下10人近くの会員がいるが会話の練習より、雑談で時間のほとんどを使っているというユニークな教室である。話題は韓国旅行、釜山は庭みたいなのです。

英語で歌う会

設立当初、ゴスペルを歌う会となっていたので、ゴスペルとはどんな歌じゃろうかと、野次馬根性で見学に行ったところ、いつの間にか会員にされてしまって現在に至っている。英語を読もうと努力をしていると、メロディははるか先に行ってしまうので歌詞を中間省略して辻褄を合わせるテクニックは大分上手になった。

ツーリングクラブ

先日、若い連中の大型バイク11台に同行し佐田岬まで年甲斐もなく走ってきたけど、左写真はその証拠写真の1枚です。

山岳会関係

今でも久留米山岳会の現役会員という事になっているが、在籍しているグループの中では、ここが一番古くて、入会して57年になり、会の中での最古参になってしまった。入会した頃は、昭和6年5月の創立当時の会員の生き残りが何人かいて、その頃の話の色々と聞いたものだが、聞き知っているのも、私だけになってしまった。私の人生のほとんどは、この会と共に歩んできたようなものである。最近ではほとんど顔を出さないが、1月の新年会と4月の山祭り、12月の忘年会の3回だけは、出席するようにしている。



青春とは「我が信念」を生きることである。好奇心旺盛なシニアは努力する、諦めない。老練を生きたとはいえ、熱い想いは脳葉に溢れんとして未だ止まず。願わくば山郷に住む知恵の精、澄み湧き出でる仙峡の精。SNK同朋への想いは強く、ネットで豊に遊ばんとする。シニアに大切なことは「人生を楽しむ哲学を持つこと」と喝破した。清濁を合せ呑み、我ら青春を現在も生きる。

歳はとっても老人には
ならない、と云う元気もん
この指とまれ

美味かもんば食う会

SNK 関連の中で最大のグループであり設立も一番古いと思う。会則なし会費なし、集まったときは飲み食いの実費を割り勘するのが原則で、腹いっぱい食べ、へべれけになるまで飲んでも、懐にはほとんど響かない、年金生活者には優しいシステムでやっている。美味かもんば食うて、美味か酒ば飲んで、腹の立つもんなダーレンおらん・・・と言うのが我々の信条である。

チッゴアミーゴス

設立以来、10年になる。最初は高良山から金明竹を貰ってきて、適当に切って叩いていたが、そのうち補助金の申請が当選して貰った金で、打楽器を取りそろえた。それを機に、名前も現在のラテン系の名に変えた。

マジック倶楽部

ひたすら真面目に生きてきたのに耐えられなくなり、人様を騙したり誤魔化したりしても怒られないもの…という不純な動機で始めて10年近くなる。最初の3年ばかりは、田端さんに手ほどきをしてもらったが、その後は、会員同士で教えあい、出演依頼があれば何人かで出かけて行って、腕前を披露している。

昔ん話を語る会

筑後地方に残る昔の話を調べて楽しむ。写真は北野町探検隊にて久留米弁で語る。

お問い合わせはコチラ

TEL での問い合わせは
0942-37-1345



財団法人 久留米中央霊園



水と緑のメモリアルパーク
風情を一望する、豊かな自然に
包まれた静寂と安らぎの地。